

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券	
信託期間	約5年間（2014年3月31日～2019年3月22日）	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドの受益証券
	ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ. 投資対象は、主として海外企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。</p> <p>ロ. 流動性を確保するため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての国債、州債およびコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。</p> <p>ハ. 債券の格付けは、取得時においてBBB格相当以上（ムーディーズでBaa3以上またはS&amp;PでBBB-以上もしくはフィッチでBBB-以上）とします。</p> <p>ニ. 金利リスク対応のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての債券先物取引を利用することがあります。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※ベビーファンド「為替ヘッジあり」においては、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	<p>分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれが多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ外貨建て海外社債ファンド 2014-03 (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

## 運用報告書(全体版) 第5期

(決算日 2016年9月23日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<2680>  
<2681>

★為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決算期	(分配落)	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	債券先物 比率	元本 残存率
		税込 分配 金	期騰 落 額	期騰 落 中 率	期騰 落 中 率				
設定 (2014年3月31日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0	
1期末 (2014年9月22日)	10,140	110	250	2.5	5.2	101.8	—	98.6	
2期末 (2015年3月23日)	10,237	160	257	2.5	5.2	98.0	—	72.0	
3期末 (2015年9月24日)	9,950	100	△ 187	△ 1.8	2.2	96.4	—	66.2	
4期末 (2016年3月22日)	9,908	100	58	0.6	1.9	94.8	—	57.8	
5期末 (2016年9月23日)	10,057	120	269	2.7	2.6	92.8	—	50.7	

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

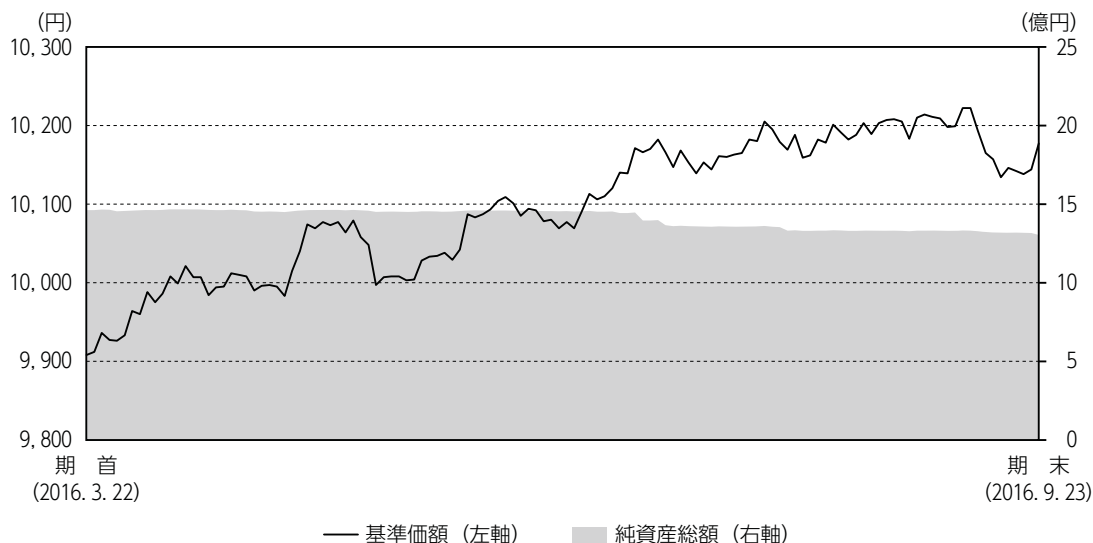
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

### ■基準価額・騰落率

期首：9,908円

期末：10,057円（分配金120円）

騰落率：2.7%（分配金込み）

### ■基準価額の主な変動要因

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を通じて、主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行なった結果、債券の利息収入などがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03 (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2016年 3月22日	9,908	—	94.8	—
3月末	9,960	0.5	96.2	—
4月末	10,015	1.1	92.3	—
5月末	10,034	1.3	92.5	—
6月末	10,110	2.0	88.1	—
7月末	10,180	2.7	94.9	—
8月末	10,214	3.1	95.8	—
(期 末) 2016年 9月23日	10,177	2.7	92.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○海外債券市況

米国では、2016年3月開催のFOMC（米国連邦公開市場委員会）の声明文や年内利上げ回数の見通しの引き下げを受けて、利上げペースの減速期待が広がりました。また、オーストラリアで利下げが行なわれたこともあり、米ドルや豪ドルなどの外貨建て社債については、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）の縮小とともに、5月にかけて金利が低下基調となりました。6月には、英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱派が勝利し、世界経済への悪影響などへの不安が広がったことから、市場のリスク回避姿勢が強まりました。外貨建て社債については、一時的にスプレッドが拡大しましたが、英国での新政権の早期発足により政治的な不透明感が後退したほか、世界的な金融緩和の継続期待にも支援され、国債に連れる形で金利は2016年7月上旬にかけて低下しました。しかし8月後半以降は、米国の利上げ観測が高まったほか、欧州や日本の追加緩和期待が後退し、期末にかけては金利の上昇圧力が強まりました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れます。また、外貨建て資産の為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないません。

### ○ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないません。

投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてBBB格相当以上とします。債券については長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

### ○ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では金融、資本財および生活必需品セクターを中心とした構成を維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は120円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額22,990,144円が、経費控除後の配当等収益16,854,184円を超過しているため、純資産額の元本超過額22,990,144円（1万口当り177.47円）を分配対象額として、うち15,544,831円（1万口当り120円）を分配金額としております。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

### ○ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2016. 3. 23~2016. 9. 23)		
	金 額	比 率	
信託報酬	70円	0.698%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は10,096円です。</b>
(投信会社)	(28)	(0.274)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(41)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.012	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	72	0.709	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2016年3月23日から2016年9月23日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	158,366	170,000	226,752	243,500

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	1,298,171	1,229,785	1,296,193

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年9月23日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	1,296,193	96.7
コール・ローン等、その他	44,340	3.3
投資信託財産総額	1,340,534	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=101.06円、1オーストラリア・ドル=77.25円です。

(注3) ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,508,273千円)の投資信託財産総額(1,509,973千円)に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年9月23日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,555,572,258円
コール・ローン等	44,340,905
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド(評価額)	1,296,193,454
未収入金	1,215,037,899
(B) 負債	1,252,724,299
未払金	1,223,922,589
未払収益分配金	15,544,831
未払解約金	4,035,320
未払信託報酬	9,163,834
その他未払費用	57,725
(C) 純資産総額 (A-B)	1,302,847,959
元本	1,295,402,646
次期繰越損益金	7,445,313
(D) 受益権総口数	1,295,402,646口
1万口当り基準価額 (C/D)	10,057円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,057円です。

■損益の状況

当期 自2016年3月23日 至2016年9月23日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 3,415円
支払利息	△ 3,415
(B) 有価証券売買損益	137,197,481
売買益	265,316,543
売買損	△ 128,119,062
(C) 有価証券評価差損益	△ 88,230,450
(D) 信託報酬等	△ 9,896,761
(E) 当期損益金 (A+B+C+D)	39,066,855
(F) 前期繰越損益金	△ 13,639,002
(G) 解約差損益金	△ 2,437,709
(H) 合計 (E+F+G)	22,990,144
(I) 収益分配金	△ 15,544,831
次期繰越損益金 (H+I)	7,445,313

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	120円

**分配金の課税上の取扱いについて**

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

★為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

決算期	(分配落)	基準価額			受益者 利回り	公社債 組入比率	債券先物 比率	元本 残存率
		税込 分配 金	期騰 落額	期中 騰落 率				
設定 (2014年3月31日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0
1期末 (2014年9月22日)	10,587	135	722	7.2	15.0	97.3	—	99.1
2期末 (2015年3月23日)	11,325	165	903	8.5	16.6	96.5	—	88.4
3期末 (2015年9月24日)	10,771	175	△ 379	△ 3.3	8.4	98.0	—	27.0
4期末 (2016年3月22日)	10,193	160	△ 418	△ 3.9	4.2	95.2	—	23.0
5期末 (2016年9月23日)	9,495	100	△ 598	△ 5.9	0.9	92.8	—	22.1

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

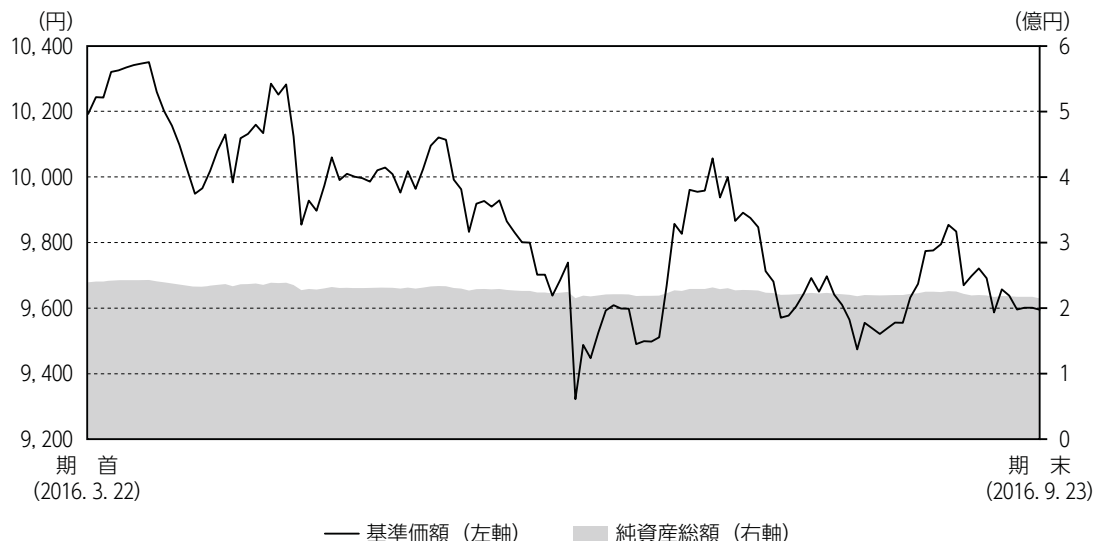
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

### ■基準価額・騰落率

期首：10,193円

期末：9,495円（分配金100円）

騰落率：△5.9%（分配金込み）

### ■基準価額の変動要因

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を通じて、主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資した結果、債券の利息収入などはプラスに寄与しましたが、米ドルと豪ドルが対円で下落したことを反映し、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03 (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2016年 3月22日	10,193	—	95.2	—
3 月末	10,347	1.5	96.3	—
4 月末	10,124	△ 0.7	94.1	—
5 月末	10,121	△ 0.7	91.8	—
6 月末	9,593	△ 5.9	87.6	—
7 月末	9,847	△ 3.4	97.3	—
8 月末	9,774	△ 4.1	97.0	—
(期 末) 2016年 9月23日	9,595	△ 5.9	92.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○海外債券市況

米国では、2016年3月開催のFOMC（米国連邦公開市場委員会）の声明文や年内利上げ回数の見通しの引き下げを受けて、利上げペースの減速期待が広がりました。また、オーストラリアで利下げが行なわれたこともあり、米ドルや豪ドルなどの外貨建て社債については、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）の縮小とともに、5月にかけて金利が低下基調となりました。6月には、英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱派が勝利し、世界経済への悪影響などへの不安が広がったことから、市場のリスク回避姿勢が強まりました。外貨建て社債については、一時的にスプレッドが拡大しましたが、英国での新政権の早期発足により政治的な不透明感が後退したほか、世界的な金融緩和の継続期待にも支援され、国債に連れる形で金利は2016年7月上旬にかけて低下しました。しかし8月後半以降は、米国の利上げ観測が高まったほか、欧州や日本の追加緩和期待が後退し、期末にかけては金利の上昇圧力が強まりました。

### ○為替相場

米ドルと豪ドルの対円為替レートは下落（円高）しました。2016年4月に日銀が追加緩和を見送ったほか、米国の早期利上げ観測の後退、オーストラリアの利下げ実施などを背景に、円高圧力が強まりました。その後は、世界景気に対する過度な悲観論が後退し市場のリスク回避姿勢が和らぐ中、米ドル円や豪ドル円は方向感なく推移しましたが、米国の早期利上げ観測が後退したことや英国のEU離脱に対する警戒感を背景に、7月上旬にかけて円高基調となりました。7月半ばには、英国新政権の早期発足で政治的な不透明感が後退し市場のリスク回避姿勢が和らいだことで、円高圧力はいったん弱まりましたが、7月末に日銀が決定した追加緩和の内容が市場の期待に届かず、米ドル円や豪ドル円の上昇は抑制されました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ○当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れます。

### ○ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてBBB格相当以上とします。債券については長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

### ○ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では金融、資本財および生活必需品セクターを中心とした構成を維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は100円といたしました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益が2,933,329円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益2,933,329円（1万口当り129.61円）を分配対象額として、うち2,263,033円（1万口当り100円）を分配金額としております。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

「ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れます。

### ○ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてB B B格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。



1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2016. 3. 23~2016. 9. 23)		
	金 額	比 率	
信託報酬	69円	0.698%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は9,854円です。</b>
(投信会社)	(27)	(0.274)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(40)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	70	0.709	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03（為替ヘッジなし）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2016年3月23日から2016年9月23日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	—	—	10,628	11,400

（注）単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	213,413	202,785	213,736

（注）単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2016年9月23日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド	213,736	97.7
コール・ローン等、その他	4,975	2.3
投資信託財産総額	218,711	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=101.06円、1オーストラリア・ドル=77.25円です。

（注3）ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,508,273千円）の投資信託財産総額（1,509,973千円）に対する比率は、99.9%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年9月23日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	218,711,375円
コール・ローン等	4,975,096
ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド（評価額）	213,736,279
(B) 負債	3,829,641
未払収益分配金	2,263,033
未払信託報酬	1,557,360
その他未払費用	9,248
(C) 純資産総額（A-B）	214,881,734
元本	226,303,331
次期繰越損益金	△ 11,421,597
(D) 受益権総口数	226,303,331口
1万口当り基準価額（C/D）	9,495円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,495円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は11,421,597円です。

### ■損益の状況

当期 自2016年3月23日 至2016年9月23日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 110円
支払利息	△ 110
(B) 有価証券売買損益	771,927
売買益	771,927
(C) 有価証券評価差損益	△ 12,951,923
(D) 信託報酬等	△ 1,597,638
(E) 当期損益金（A+B+C+D）	△ 13,777,744
(F) 前期繰越損益金	4,533,129
(G) 解約差損益金	86,051
(H) 合計（E+F+G）	△ 9,158,564
(I) 収益分配金	△ 2,263,033
次期繰越損益金（H+I）	△ 11,421,597

（注1）有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

（注2）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注3）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注4）収益分配金の計算過程は15ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 ( 税 込 み )	100円

**分配金の課税上の取扱いについて**

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

# ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

## 運用報告書 第5期 (決算日 2016年9月23日)

(計算期間 2016年3月23日～2016年9月23日)

ダイワ外貨建て海外社債マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
運用方法	<p>①主として、海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ. 投資対象は、主として海外企業が発行する米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とします。</p> <p>ロ. 流動性を確保するため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての国債、州債およびコマーシャル・ペーパー等に投資することがあります。</p> <p>ハ. 債券の格付けは、取得時においてBBB格相当以上（ムーディーズでBaa3以上またはS&amp;PでBBB-以上もしくはフィッチでBBB-以上）とします。</p> <p>ニ. 金利リスク対応のため、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての債券先物取引を利用することがあります。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

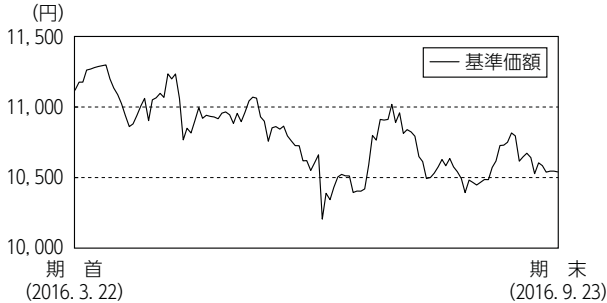
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準価額		公社債組入比率	債券先物比率
	円	騰落率		
(期首) 2016年3月22日	11,120	%	%	%
3月末	11,293	1.6	96.0	—
4月末	11,060	△ 0.5	97.0	—
5月末	11,070	△ 0.4	94.4	—
6月末	10,504	△ 5.5	92.0	—
7月末	10,793	△ 2.9	87.5	—
8月末	10,727	△ 3.5	97.0	—
(期末) 2016年9月23日	10,540	△ 5.2	96.7	—

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。  
 (注3) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。  
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】  
 期首：11,120円 期末：10,540円 騰落率：△5.2%

【基準価額の主な変動要因】

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資した結果、債券の利息収入などはプラスに寄りましたが、米ドルと豪ドルが対円で下落したことを反映し、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○海外債券市場

米国では、2016年3月開催のFOMC(米国連邦公開市場委員会)の声明文や年内利上げ回数の見通しの引き下げを受けて、利上げペースの減速期待が広がりました。また、オーストラリアで利下げが行なわれたこともあり、米ドルや豪ドルなどの外貨建て社債については、スプレッド(国債に対する上乗せ金利)の縮小とともに、5月にかけて金利が低下基調となりました。6月には、英国の国民投票でEU(欧州連合)離脱派が勝利し、世界経済への悪影響などへの不安が広がったことから、市場のリスク回避姿勢が強まりました。外貨建て社債については、一時的にスプレッドが拡大しましたが、英国での新政権の早期発足により政治的な不透明感が後退したほか、世界的な金融緩和の継続期待にも支援され、国債に連れ

る形で金利は2016年7月上旬にかけて低下しました。しかし8月後半以降は、米国の利上げ観測が高まったほか、欧州や日本の追加緩和期待が後退し、期末にかけては金利の上昇圧力が強まりました。

○為替相場

米ドルと豪ドルの対円為替レートは下落(円高)しました。2016年4月に日銀が追加緩和を見送ったほか、米国の早期利上げ観測の後退、オーストラリアの利下げ実施などを背景に、円高圧力が強まりました。その後は、世界景気に対する過度な悲観論が後退し市場のリスク回避姿勢が和らぐ中、米ドル円や豪ドル円は方向感なく推移しましたが、米国の早期利上げ観測が後退したことや英国のEU離脱に対する警戒感を背景に、7月上旬にかけて円高基調となりました。7月半ばには、英国新政権の早期発足で政治的な不透明感が後退し市場のリスク回避姿勢が和らいだことで、円高圧力はいったん弱まりましたが、7月末に日銀が決定した追加緩和の内容が市場の期待に届かず、米ドル円や豪ドル円の上昇は抑制されました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。  
 投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてBBB格相当以上とします。債券については長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

◆ポートフォリオについて

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。業種別では金融、資本財および生活必需品セクターを中心とした構成を維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として海外企業が発行する外貨建ての社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。投資対象は、米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等とし、債券の格付けは取得時においてBBB格相当以上とします。債券は長期保有を基本としますが、発行企業の信用力等を勘案しつつ適宜銘柄の入れ替えを検討します。

## ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合 計	1

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

### ■売買および取引の状況

#### 公 社 債

(2016年3月23日から2016年9月23日まで)

		買付額	売付額
外 国	アメリカ	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 545 ( — )
	オーストラリア	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル 437 ( — )

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は四捨五入。

### ■主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2016年3月23日から2016年9月23日まで)

当 期		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
		Starbucks Corp (アメリカ) 3.85% 2023/10/1	36,205
		Mirvac Group Finance Ltd (オーストラリア) 5.75% 2020/9/18	33,800
		BlackRock Inc (アメリカ) 3.5% 2024/3/18	21,838

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は四捨五入。

### ■組入資産明細表

#### (1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

作 成 期	当 期					末		
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
区 分				%	%	%	%	%
アメリカ	千アメリカ・ドル 9,400	千アメリカ・ドル 10,341	千円 1,045,127	69.2	—	56.2	13.0	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 4,500	千オーストラリア・ドル 4,698	362,922	24.0	—	5.2	18.9	—
合 計	—	—	1,408,050	93.2	—	61.4	31.9	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は四捨五入。

(2)外国(外貨建) 公社債(銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	当 期		末		償還年月日
			年利率	額 面 金 額	評 価 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ	MetLife Inc	社債券	3.0000	千アメリカ・ドル 200	千アメリカ・ドル 204	千円 20,639	2025/03/01
	FedEx Corp	社債券	4.9000	300	344	34,815	2024/01/15
	Hewlett-Packard Co	社債券	4.6500	500	547	55,282	2021/12/09
	FORD MOTOR CR. CO.	社債券	4.2500	500	543	54,910	2022/09/20
	Anheuser-Busch InBev Finance Inc	社債券	2.6250	300	306	30,933	2023/01/17
	UNITED TECH CORP	社債券	3.1000	200	215	21,769	2022/06/01
	McDonald's Corp	社債券	2.2000	200	204	20,652	2020/05/26
	McDonald's Corp	社債券	3.6250	200	214	21,711	2021/05/20
	Time Warner Cable Inc	社債券	5.0000	300	325	32,917	2020/02/01
	Wal-Mart Stores Inc	社債券	5.8750	300	392	39,713	2027/04/05
	Verizon Communications Inc	社債券	4.1500	300	330	33,431	2024/03/15
	KROGER CO	社債券	3.3000	500	527	53,357	2021/01/15
	HOME DEPOT INC.	社債券	3.7500	200	221	22,362	2024/02/15
	CITIGROUP INC.	社債券	5.5000	500	567	57,313	2025/09/13
	Wells Fargo & Co	社債券	4.1250	500	539	54,510	2023/08/15
	Bank One Corp	社債券	7.7500	500	655	66,292	2025/07/15
	GOLDMAN SACHS GROUP INC.	社債券	4.0000	500	537	54,269	2024/03/03
	Caterpillar Financial Services Corp	社債券	2.8500	300	314	31,762	2022/06/01
	BPCE SA	社債券	5.1500	500	529	53,508	2024/07/21
	Societe Generale SA	社債券	5.2000	300	341	34,544	2021/04/15
	Enel Finance International NV	社債券	5.1250	300	328	33,236	2019/10/07
	RABOBANK NEDERLAND	社債券	4.6250	500	542	54,810	2023/12/01
	GlaxoSmithKline Capital PLC	社債券	2.8500	500	527	53,305	2022/05/08
Santander UK PLC	社債券	5.0000	500	521	52,747	2023/11/07	
Telefonica Emisiones SAU	社債券	4.5700	500	557	56,329	2023/04/27	
通貨小計	銘柄数 金 額	25銘柄		9,400	10,341	1,045,127	
オーストラリア	Brisbane Airport Corp Pty Ltd	社債券	6.0000	千オーストラリア・ドル 500	千オーストラリア・ドル 552	42,648	2020/10/21
	Incitec Pivot Ltd	社債券	5.7500	500	526	40,695	2019/02/21
	Aurizon Network Pty Ltd	社債券	5.7500	1,000	1,068	82,522	2020/10/28
	National Australia Bank Ltd	社債券	2.6650	1,000	1,005	77,651	2018/11/08
	AUST & NZ BANK	社債券	4.8750	500	535	41,375	2021/03/19
	Westpac Banking Corp	社債券	4.4750	1,000	1,010	78,028	2022/08/23
通貨小計	銘柄数 金 額	6銘柄		4,500	4,698	362,922	
合 計	銘柄数 金 額	31銘柄				1,408,050	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## ダイワ外貨建て海外社債マザーファンド

### ■投資信託財産の構成

2016年9月23日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	1,408,050 千円	93.2 %
コール・ローン等、その他	101,923	6.8
投資信託財産総額	1,509,973	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月23日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=101.06円、1オーストラリア・ドル=77.25円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(1,508,273千円)の投資信託財産総額(1,509,973千円)に対する比率は、99.9%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年9月23日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	1,583,944,152円
コール・ローン等	32,008,660
公社債(評価額)	1,408,050,085
未収入金	129,614,237
未収利息	14,271,170
(B)負債	73,970,500
未払金	73,970,500
(C)純資産総額(A-B)	1,509,973,652
元本	1,432,570,905
次期繰越損益金	77,402,747
(D)受益権総口数	1,432,570,905口
1万口当り基準価額(C/D)	10,540円

\* 期首における元本額は1,511,585,515円、当期中における追加設定元本額は158,366,201円、同解約元本額は237,380,811円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03(為替ヘッジあり)1,229,785,061円、ダイワ外貨建て海外社債ファンド2014-03(為替ヘッジなし)202,785,844円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,540円です。

### ■損益の状況

当期 自2016年3月23日 至2016年9月23日

項 目	当 期
(A)配当等収益	31,301,748円
受取利息	31,308,845
支払利息	△ 7,097
(B)有価証券売買損益	△ 117,215,212
売買益	37,731,879
売買損	△ 154,947,091
(C)その他費用	△ 111,889
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 86,025,353
(E)前期繰越損益金	169,313,490
(F)解約差損益金	△ 17,519,189
(G)追加信託差損益金	11,633,799
(H)合計(D+E+F+G)	77,402,747
次期繰越損益金(H)	77,402,747

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。